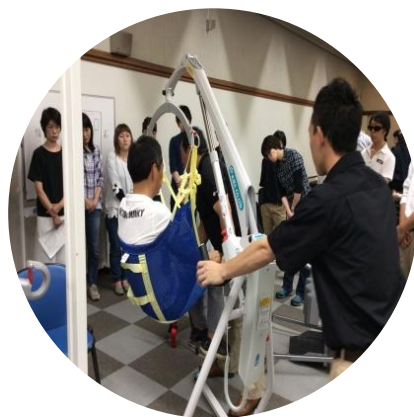




なりたい「私」にちかづくために。

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会

令和3~4年度 職員研修のご案内



東社協 東京都高齢者福祉施設協議会

東京都高齢者福祉施設協議会は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東社協）の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター等を会員とする組織です。（会員数約 1200 施設・事業所）

東京の高齢者福祉の発展と、福祉サービスの質の向上を目指し、業種別・職種別・テーマ別などさまざまな委員会活動をとおり、研修会の企画や調査研究、提言活動、ネットワークづくりに取り組んでいます。

職員研修委員会が目指すもの

高齢化が進む大都市・東京では、高齢者福祉を担う職員に大きな期待が寄せられています。

東京都高齢者福祉施設協議会 職員研修委員会では、「人が人を支える」という福祉の原点をふまえ、専門職である現場職員に求められる技術や知識、心構えを学ぶためのさまざまな研修会を開催しています。

職員一人ひとりのスキルアップをとおして、東京の高齢者福祉をさらに向上・発展させるために、東京都高齢者福祉施設協議会の研修にぜひご参加ください。

新会長ごあいさつ

東京都高齢者福祉施設協議会

会長 田中 雅英

社会福祉法人三交会 青葉台さくら苑 施設長

このたび西岡会長からバトンを受けて会長を務めることになりました。コロナ禍という未曾有の危機の中でのかじ取りを任せられ、身の引き締まる思いでいます。全力を尽くす決意です。

さて、福祉・介護業界の経営環境は大きく変化しています。私たちは、環境の変化に「適用するための変革」を迫られていると認識すべきでしょう。変革に大切なことは、まず、危機意識を共有することです。次に、職員の意識改革が必要です。それができて、初めて変革が始まります。変革に必要な情報と知識と技術を得られる研修会を企画していきます。

コロナ禍により、人材不足、経営難が深刻化して、職員の研修参加が難しくなっている施設も少なくない状況だと推察します。一方、Web会議、リモート研修、動画配信などの工夫や知恵が生まれました。3密を回避した分散開催など、今後も創意工夫をしながら委員会の活動をしていきます。一人でも多くの方が研修に参加することを願っています。



新委員長ごあいさつ

東京都高齢者福祉施設協議会

統括委員長 櫻川 勝憲

社会福祉法人仁生社 中川園 施設長

この度、前任の堀委員長から引き継ぐことになりました。昨年度はコロナ禍のため、予定していた研修が従来のスタイルで実施することが出来ず、中止もしくは小規模、オンライン開催となりました。

今年度もこのようなスタイルで企画、実施することになるかと思われまます。今までの研修に慣れた方たちにとって、ZOOM等のオンラインには抵抗感を隠せないことと思います。しかし、従来の集合型に加え、良い点もいくつかあることが分かってきました。今後はその両方のいいところ「ハイブリッド型研修」が一般化していくかもしれません。これからの職員研修委員会では、委員である現場の職員たちと「今、何を求められているか」を念頭に置き、このハイブリッド型研修の企画、実施をしていきたいと考えています。過去の慣習や枠にとらわれることなく、多くの会員施設からの参加や視聴をしていただけるよう。現場ニーズに即した研修を提供していきます。



職員研修委員会の研修で得られること

- 高齢者福祉・介護分野で活躍する著名な講師による研修が、リーズナブルな参加費で受講できます。
- 現場の職員がつくる研修だからこそ、今もっとも知りたい情報が得られます。
- 国や東京都の最新動向・情報を提供しています。
- 東京都高齢者福祉施設協議会のネットワークを活かし、都内のさまざまな施設・事業所の事例をきくことができます。
- 他の施設ではたらく同職種・異職種それぞれの職員との情報交換と交流の機会が得られます。

職員研修委員会について

職員研修委員会は、東京都高齢者福祉施設協議会における委員会活動の一つであり、本委員会である職員研修委員会と、下記8つの職種別委員会で構成しています。各委員会とも、会員施設・事業所の施設長や職員のうち、都内各地域ブロック会の推薦や、公募参加により、20名程度のメンバーで活動しています。

<p>●事務職員研修委員会 事務職員は、施設により担当する仕事内容が異なり、相談場所がないことでお悩みの方も多くなります。研修の企画や情報交換を通して悩みを共有し、問題解決を図っています。</p>	<p>●生活相談員研修委員会 施設においてリーダーシップを発揮できる生活相談員を育成しています。下部組織の小委員会では、生活相談員業務指針の発行、加算算定状況に関する調査などを行っています。</p>
<p>●介護職員研修委員会 介護職員としての専門性を高める研修会の企画をするとともに、各施設での悩みや問題を一緒に解決するために情報交換を行っています。</p>	<p>●看護職員研修委員会 施設と病院でのギャップに悩んでいる看護師が、役割を見失うことなく、自信を持ってケアに携われるよう、研修会を企画しています。</p>
<p>●栄養研修委員会 「食」という重要な部門に携わるプロ、また 専門職集団としてよりレベルアップを図るべく、新しいアイデアづくりなどに努めています。</p>	<p>●機能訓練指導員研修委員会 施設での機能訓練指導員の仕事・役割や、日頃の業務における悩みについて共有できるよう、研修会の他に情報交換会も企画しています。</p>
<p>●ケアマネジャー研修委員会 研修会の企画を通していち早く情報をキャッチし、介護支援専門員としてそれを効果的に伝える「企画力」「説明力」を学んでいます。</p>	<p>●人材育成研修委員会 職種に関わらず、主任・係長など部下を指導、育成する立場の中間管理者として必要な知識や技術を身につけてもらうための研修を企画運営しています。</p>

東京都高齢者福祉施設協議会の職員研修体系



※職員研修委員会以外にも、分科会や委員会主催による研修会を開催しています。ご案内は随時会員施設・事業所にお送りいたします。

職員研修委員会に参加しませんか（幹事の募集）

職員研修委員会の各委員会では、都内各地の会員施設・事業所の職員や施設長が毎回集まりながら、研修会の企画運営についての議論の他、関連するテーマの調査研究などにも取り組んでいます。

「他の事業所の職員と交流したい」「こんな研修会を企画・開催したい」「スキルアップをしたい」など、ご興味のある会員施設・事業所職員の方はふるってご参加ください。